

知ってる 街ネタ

神秘のレイライン 大パノラマに静寂の一瞬



神秘的なご来光の道として伊吹山の頂上から太陽が昇り北仰の津野神社、川上祭の馬場、王塚古墳から日置前の

地に沈むという、春分の日と秋分の日の年2回のレイラインの日。

9月23日には大勢の方が神秘的な光景を、想い想いの形で見入っておられました。京阪神から訪れた方は「雲がかかって、またこれが美しく、やっと念願がかなって、ここに来ることができた」と笑顔で話されました。

今回、湖岸でご来光を見ながらレイラインの解説をしていただきました。来年の春分の日には、多くの人が来られていることから、何かイベント的なことができないかと検討しています。

お知らせ



- 11月4日(土)名小路誕生祭
親子で「わくわく路上あそび」
ごみ分別ゲーム
(防災・地域連携部会)
- 11月5日(日)名小路誕生祭
特産市の開催(産業・観光部会)
Oh!me!!今津ふるさと特産市
- 11月12日(日)たかしま市民活動
フェスタ 2023
(企画・広報部会)
ところ 今津東コミセン
- 11月19日(日)「おっきん棕川」
特産市の開催(産業・観光部会)
南深清水柿まつり
- 12月9日(土)駅前イルミネーション点灯式
(産業・観光部会)

今年も点灯します!!

今年は、小学生制作のペットボトルでイルミネーションを飾ったり、地元団体の協力と連携で、昨年よりバージョンアップした企画で点灯します。なお、点灯式も開催します。ご期待ください!!



自治協って どうして必要なの?

たとえば、地域の防災対策に取り組むとき、障がい者支援や高齢者支援など、あわせて考えるべきテーマがたくさんあります。さまざまな分野で活動している団体が連携・協力することで、より効果的に課題を解決することができます。今後、少子高齢化によって活動の担い手が少なくなっていくことを考えれば、地域の団体がまとまって課題解決に取り組む体制・仕組みづくりが必要です。

住民自治協議会は「地域で地域を運営する」という発想のもと、さまざまな形で地域の課題を解決するために活動する組織です。



紅白のヒガンバナが見事

まちづくりよろず相談は、毎週土曜日午後1時30分~です。

区や団体など、地域の悩みごとや相談ごとなど、雑談してみませんか。なんでも気軽に話せる場です。ぜひ!!

編集後記



ホームページ

今年は夏から急に秋めいて、変な天気との声が多く聞かれます。温暖化の仕業かも。ただ実りの秋は、食欲も読書も芸術もスポーツも行楽も...あげればキリがありませんが、短いか長いかは別にして、ゆっくり楽しみましょう。

つなごろう 今津

高島市今津地域住民自治協議会だより

第8号

令和5年10月27日発行

11月

皇帝ダリア (和名・木立ダリア)
花言葉は、乙女の純潔、乙女の真心、優雅、華麗

発行 高島市今津地域住民自治協議会
事務局 今津町中沼一丁目4番地1
今津東コミュニティセンター
(今津公民館)
TEL 090-4927-3222
メール info@imazu-jichikyo.org
ホームページ https://www.imazu-jichikyo.org/

小中学生と地域が連携して 今津の環境を学習

琵琶湖を取りまく環境を学び、守り、将来につなぐことを目的に防災・地域連携部会では「今津の自然を学び守る事業」に取り組んでいます。



今津周遊基地(今津町今津)で7月3日(月)には、「ハマヒルガオ」の保全活動。10月5日(木)は特定外来生物である「ナガエツルノゲイトウ」の駆除学習を開き、あわせて琵琶湖岸の清掃活動をおこないました。今年は今津中学校3年生、今津東・北小学校4、5年生から延べ300人が参加しました。

「環境を守るいまづの会」「いまづ自然観察クラブ」「今津民生委員児童委員協議会」「今津赤十字奉仕団」「北浜区」「南新保区」「カームタウン区」「西区」「今津サンブリッジホテル」「平和堂今津店」など、地元の団体と市、県らが連携しての開催となりました。



特定外来植物を見る小学生

事前に機械を使った除草作業や植栽の剪定作業、基地休憩所やトイレの清掃などにも多くの方が協力し、準備と環境整備作業ができた。

した。生徒らも琵琶湖岸のごみの多さや自然環境を守ることの大切さを、体験学習を通じて感じとったようでした。

7月時に参加した小中学生は「琵琶湖の浜はきれいだと思っていたが、ごみやガラスの破片などいっぱい落ちていた。ハマヒルガオなどの環境を守るため、自分でできることをしようと思った」「今まで気にしたことがなかったが、自分たちが琵琶湖をきれいに、自然環境を守らないと」など、感想が寄せられました。

特定外来生物...

ナガエツルノゲイトウは、在来水草にはない史上最悪の侵略的植物ともいわれ、昨年10月に本事業で学習会を開き、琵琶湖岸の川辺に繁茂しているところを県により駆除をした経緯があります。切れた茎断片からも発根するなど、再生力が旺盛で、乾燥にも強く畑地でも生育するという厄介な植物です。関東地方では水路や水利施設など農業被害も報告されています。

10月の活動では、県琵琶湖環境部自然環境保全課の中井克樹さん

から水辺と陸地湖岸の砂地に生育するナガエツルノゲイトウを見ながら説明を聞き、早期発見や粘り強く対応することなどを学習しました。



生徒らは「こんなところに特定外来生物があるなんて知らなかった」「そんなに厄介な植物が琵琶湖にあるなんて」と驚いたようすで見入っていました。

今後も、生徒らとともに今津の自然を守り、将来に引き継げるようすすめていきます。

下校時の見守り

小学校の登校時は、スクールガードの皆さんや地域の方の見守りで安心して集団登校できますが、下校時は下校時間が異なるなど、さまざまな課題があり、教育・福祉部会でどう支援できるのか検討してきました。

そこで、「下校時の見守り活動支援事業」として、東小学校管内で10月中の20日間、3ヶ所の交差点に指導員が見守ることになりました。部会では、地域で見守る一助として、どう支援できるのか、さらに検討をすすめていくことにしています。

子ども達の防犯上の課題については、防災・地域連携部会でも「子ども110番」を中心に検討をすすめて



ており、今津民生委員児童委員協議会でも「ながら見守り」をすすめるなど、各団体で取り組みがすすんでいます。子ども達は、地域の宝です。これからも地域あげて見守りましょう。

今津の街あるきをガイド

今津には誇れる歴史や文化があり、訪れる人に今津の魅力を伝えるため、通りや歴史に興味のある方を中心に、座学や現地講習など、ガイドの育成事業に取り組んできました。

本年度、歴史・文化部会ではガイド活用事業として、今津の街歩きガイドを行っています。

公民館事業の街歩きや7月25日には、今津民生委員児童委員協議会が高島地域民生委員児童委員との交流会で、今津の街歩きを実施しました。案内したガイドは「歴史や史跡の知識だけでなく、聞き手にあわせた話ができるよう頑張りたい」と抱負を話しました。

今津北小学校でごみ分別学習

7月7日、今津北小学校4年生の課外授業の一環として「ごみ分別ゲーム」を開きました。

ゲームを通してごみの分別を学習しました。児童が考えて入れた分別トレイの答えあわせもして、ごみがどの分類になるのか確認しました。

ふだんの身の回りのごみについても関心をもつ機会となったようです。



10月16.17.19日に、高島高校の令和5年度1年A類型クラスのフィールドワーク授業が、「今津の街を知り、探究意欲を育む」をテーマに開かれました。探究の手法の一つであるフィールドワークのスキルを身につけ活動に活かすためです。

高校生3クラス116人は、クラス別に3日間に分かれ、浜通りや今津ヴォーリズ資料館、琵琶湖周航の歌資料館などを巡りました。高校生は、どこも訪れたことのない場所ばかりのようで、今津の新たな発見につながればとガイドしました。



この瞬間かも知れない災害に・・・ 広域避難所運営会議

今津総合運動公園を広域避難所とする梅原、梅原台、岸脇、三谷、伊井地区の区長、防災リーダーが集まり、10月8日、今津総合運動公園パーク今津で今年度の運営会議が開かれました。

昨年度から引き続き、現地での施設設備の確認をした後、実際に計測した避難スペースを確認しました。計画した図面をもとに段ボールパーテーションなどでスペースを体感し、課題や問題点を話し合いました。

避難スペースを見て話し合うメンバー

子どもの居場所づくりを各団体が連携して開催!

夏休みにはいった7月26日、今津東小学校で学校支援する「はなまる広場+(プラス)」とセカンドホーム未来が運営する子ども食堂、教育・福祉部会の「Base 子ども活動事業」「子ども食堂支援事業」が連携して、初めての取り組みが開かれました。

スタッフは、ボランティアの中学生や各団体のスタッフ、民生委員児童委員も加わり、学習タイム

に続き、体を動かし遊び、シャボン玉遊び、ぬり絵・手芸教室に分かれ、遊びタイムを楽しんでいました。

参加児童は、はなまる広場+(プラス)や、学童、一般参加も

あわせて約150人。3部門の遊びを自由に体験し、お昼には子ども食堂スタッフが準備したカレーライスをいただきました。おかわり続出に、準備した200食がほぼなくなるほど元気いっぱいでした。

今回の連携事業は、子ども同士や、大人や地域とのつながりが希薄化するなかで、その再構築を願い、居場所づくりをすすめるもので、各団体ともいつも以上の参加者となりました。



カレー調理をするスタッフ



予定したカレー200食が、またたくまに・・・



琵琶湖周航の歌の会

琵琶湖周航の歌の会は、9月23日に琵琶湖周航の歌の歌碑をめぐる研修会を開きました。

県内には歌碑が8ヶ所設置されていますが、今回はそのうち5ヶ所を周りました。作詞者の小口太郎が琵琶湖周航に出発した三保ヶ崎では、旧制三高(現京都大学)の旧艇庫前で当時を偲び、各地の歌碑に刻まれた碑文からは建立に携わった人々の思いを学びました。歌の会では、来年度も歌碑めぐりを行う予定とのことです。

琵琶湖周航の歌碑めぐり

